

若竹

第六十四号



第十七回 慰問神楽 於 志々満保育園（今治市）

愛媛県神道青年会

事務局 〒794-0036

愛媛県今治市通町 3-1-4

吹揚神社社務所内

TEL・FAX 0898-22-0369

URL <http://www.ehimeshinsei.net/>

巻頭言

新年度の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長 十亀 雅史



先ず以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げますと共に、各ご社頭のご隆昌を心よりお祈り申し上げます。

常日頃より、愛媛県神道青年会に対し格別のご指導ご鞭撻を戴きまして、諸事滞りなく遂行できますこと衷心より篤くお礼申し上げます。

また本年は終戦七十年を迎え、天皇皇后両陛下におかせられましては、パラオ共和国ペリリュー島に行幸啓遊ばされ、戦死者への御霊の慰霊と平和の祈りを捧げられましたこと記憶に新しく、我々青年神職も「先ず神事」の想いを改めて心新たにさせて戴きました。

さて、過日の臨時総会に於きまして、清家貞文前会長よりタスキを受け、新たに会長の職を仰せつかることになりました。これまで諸先輩方が築き上げられ脈々と受け継がれていますこの青年会の基を崩すことなく、役員一同心一つに会務に取り組み、会員と共に活動して参る所存でございます。

今期は、昨年行われました神青協創立六十五周年記念式典の中で、高円宮久子妃殿下より賜りました「我が国や世界の諸問題・平和について考えられる時に、行動も大切ですが、神職としての最も大切なおつとめが「祈り」だ」ということを決してお忘れにならないよう」との御言葉を思い、先に申しました「先ず神事」祈りを中心に各事業を執り行っていきたい、と考えます。

各地では様々な自然災害や、北方領土・竹島・尖閣諸島などの問題もあり、神青協では祭典や復興支援活動を行っておりま

す。愛媛県は遠方ということもあり、なかなか参加が出来ていない現状であります。しかしながら、愛媛の地で祈ることは出来ると思います。全国の同志と共に心をつ

にする為にも祈りから様々発信できたらと思っております。祈る為には何が必要か、この祈りから出来る活動は何なのか、このよう

なことも考えていく中で、私が三期六年間役員を務めさせていただきました時々の会長が「青少年の育成」「時局への即応」「各

事業への会員参加の増加」を目標に掲げられ活動されてきました。私はこれらの思いを繋いでいきたいと考えております。

そして今、政治に於いては安倍政権が青少年育成の為の教育を始め、自衛・拉致・憲法改正などについて話し合いを進めています。その局面にどういった形で青年会として活動ができるのか、友好団体との協力活動は何か出来るか、またその活動は役員だけとするのではなく、多くの会員と活動を深めていきたいと考えます。一人の力より多くの力が如何に大切か、多くの意見が如何に偉大か。その為にも清家前会長が前期力を入れられました会員参加の増加はある程度形となつて表れましたが、今期は会員数が減少していく中でそれを維持し、さらに増やしていくことも課題だと考えます。

青年会活動は大変な面もありますが、充実したものであり、何より先輩方との縦の繋がりと同志との横の繋がりが密になり、大変有意義なものであります。是非とも共に語り、共に手を取り大きな輪を作っていきましょう。

今現在ある事業は当然ではありますが、新たに必要とされる活動のいろいろな意見に対し、各部会長を中心に話し合い、役員会に諮り、会運営も円滑に進めて参りたいと思います。今後も叱咤激励は元より、ご指導ご協力を宜しく願います。

愛媛県神道青年会 今期2年間の主題と目標

今期の主題 「祈り」

我々神職として基本かつ最も大切なつとめである「祈り」を根幹に据え、その上で、特に以下に掲げる3項目を重点目標にし、事業を展開して参ります。

・青少年育成の取り組み

今を生きる我々は先人からの想い「祈り」を受け継ぎ、次世代へと繋いでいく責務があります。その為には日本のこころ即ち神道精神の通じた教化活動が必要です。当会では慰問神楽をはじめ幅広く神事を通した活動を中心に事業展開し、青少年育成に取り組んで参ります。

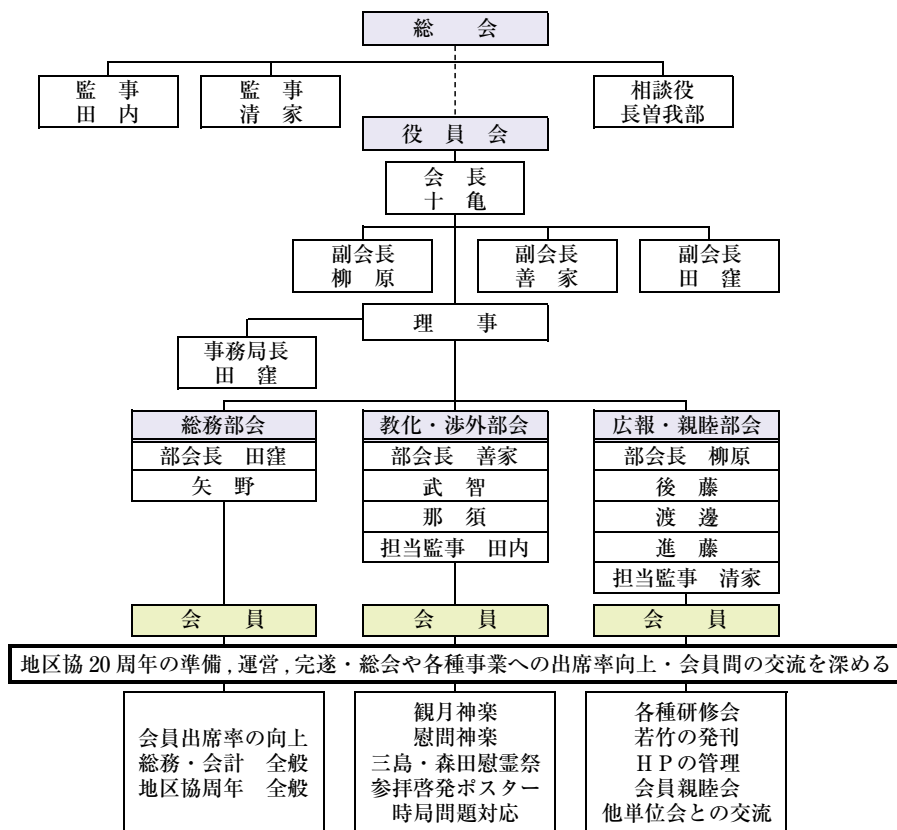
・時局への即応

領土・拉致問題には被害者の一日も早い解決への「祈り」があります。それには憲法改正は欠かせないものと考えます。このような時局への取り組みをさらに強化し、会員で心一つとなって祈りを実現すべく時局問題に積極的に対応して参ります。

・各事業への会員参加増

上記の「祈り」への目標を達成するためには、まずより多くの会員と共に活動することが不可欠です。また、少子化の影響で今後会員数の減少が見込まれます。前期からの会員交流をより活発にして意思疎通を図り、会員全員で取り組み大きな力となるよう目指します。
ご協力をお願いします。

平成27～28年度 愛媛県神道青年会 組織図



今期のテーマは「祈り」。会員の皆様、各事業へのご参加宜しくお願い致します！

新役員紹介



会長
十亀 雅史(ツガメ マサフミ)
昭和五十六年六月三十日生
石鎚神社 榑欄宜
〔一言〕
願い感謝する祈りの心は日本の心。
神縁人縁を載いて共に活動しましょう！



副会長(広報・親睦部会長)
柳原 永祥(ヤナギハラエイシヨウ)
昭和五十九年十月二十五日生
嚴島神社 榑欄宜
〔一言〕
どんな事業をしようとも経験はあくまで個人のものです。
参加して学んで楽しみましょう！



副会長(教化・渉外部会長)
善家 祐二(センケ マサジ)
昭和五十二年三月八日生
龍王神社 榑欄宜
〔一言〕
行動力・情報発信・会員交流を前期以上に強化して参ります。



副会長・事務局長(総務部会長)
田窪 大朗(タクボトモアキ)
昭和五十七年十一月十一日生
吹揚神社 榑欄宜
〔一言〕
これに合わせ神青協四国地区次世代委員も拝命しました。
大役ですのでドキドキします。



理事(広報・親睦部員)
後藤 正幸(ゴトウ マサユキ)
昭和五十七年七月二十六日生
高忍日賣神社 榑欄宜
〔一言〕
会員がより一丸となるよう努め、情報発信に取り組んで参ります。



理事(教化・渉外部員、時局担当)
武智 和剛(タケチ カズタカ)
昭和五十一年八月二十五日生
徳川神社 榑欄宜
〔一言〕
十亀新会長を支え、そして会員との繋がりをにつくれるように頑張ります！



理事(総務部員)
矢野 忠臣(ヤノ タダオミ)
昭和五十二年十一月二十八日生
石鎚神社 榑欄宜
〔一言〕
今期、総務部を担当させていただきます。「清明正直」の心を以て、精一杯頑張ります。



理事(広報・親睦部員)
渡邊 平(ワタナベ タイラ)
昭和五十年十二月二十四日生
伊豫豆比古命神社 榑欄宜
〔一言〕
神青の活動を通じ、多くの会員が参加頂けるよう努めて参ります。



理事(教化・渉外部員)
那須 重昭(ナス シゲアキ)
昭和五十六年五月十九日生
白王神社 榑欄宜
〔一言〕
ドキドキの理事一年目。日々、勉強。ご迷惑をお掛けしますがよろしくお願ひ致します。



相談役
長曽我部 信弥
(チヨウソウカベ シンヤ)
昭和四十九年四月十四日生
伊豫豆比古命神社 榑欄宜
〔一言〕
相談役とは、会務運営上の問題について適当な助言を行う事。及び横槍を入れない事。



監事
田内 逸知(タウチ ハヤトモ)
昭和四十九年十一月二十六日生
東雲神社 宮司
〔一言〕
一期二年間、監事職を努めさせて頂く事となりました。
職責の重さを受け留め、私なりに全う出来る様努めたいと思います。
宜しくお願ひ致します。



監事
清家 貞文(セイケ サダフミ)
昭和四十八年十一月三日生
八幡神社 榑欄宜
〔一言〕
前期、皆様方から頂いた御恩や感謝の気持ちを忘れず、会に対して物申し述べます。



理事(広報・親睦部員)
進藤 雄作(シントウ ユウサク)
昭和五十九年十月九日
野坂神社 宮司
〔一言〕
会員の皆様に「神青って楽しい」と思ってもらえるような活動が出来るよう頑張ります。

任期二年
自 平成二十七年四月一日
至 平成二十九年三月三十一日

今期もどうぞよろしくお願い申し上げます。 役員一同

趣味人

第四回

〜神青会員のオフタイム〜

愛媛県神道青年会 会長

石鎚神社 権禰宜 十亀 雅史さん

神青会員の多彩な趣味を紹介するこのコーナー。今回紹介するのは、今期会長に就任した十亀雅史さん。幼少期よりサッカー一筋だったという十亀会長。会長の「サッカー愛」を語ってもらった。

「はじまりは『キャプテン翼』でした。」

当時テレビアニメにもなった「キャプテン翼」が好きで、二

人のお兄さんがサッカーチームの練習に行くの

にいつもついて行っていた。そこで「コーチから『毎日来るんだつたらやらないか』と言われ、サッカーの世界に入っていたという。

小学校から本格的にサッカーを始め、頭角を現す。中学時代には地元高校のコーチ



皇學館大学のユニフォームでキメる十亀会長

『ボールは友達』とにかくボールに触っているのが楽しいんです

手と同じポジションで、攻撃的ディフェンダー（DF）である。高校時代には、愛媛県選抜チーム候補にも入ったほどだ。高校卒業後は皇學館大学に進学するが、そこでもサッカー部に入ることに。

「雅楽とサッカーで迷っていたのですが、寮でサッカーのジャージを着ていたら『サッカーやってたの?』と先輩から声をかけられ、入ることになりました。」

大学時代はサッカー部のキャプテンも任されたほどである。ちなみに、サッカー部の二年後輩には当会矢野理事がいて、共にプレーしていた。

大学卒業後は奈良県・大神神社に奉職す

が見に来て、オフアームもしてくれた。
「高校でのポジションは左サイドバックでした。僕は左利きだったので、重宝されたんですよ(笑)」
左サイドバックと言え、愛媛出身の長友佑都選



皇學館大学サッカー部時代。前列左から3番目が十亀会長、後列右から5番目が矢野理事

るが、毎年の大学OB戦にも参戦していた。また、試合を観るのも楽しいという。こんなエピソードを紹介してもらった。

「新婚旅行でスペインのマドリッドへ行った時のこと。レアルマドリッドの試合があると聞いてチケットも持たずにスタジアムまでは行ったものの、入れずウロウロしていました。そうしたらこの国かも分からない人がチケットをくれて、半信半疑ながら行ってみると、スタジアムの中に入れたんです！目の前でベッカムやジダンといったスター選手のプレーを観ることができ、とても感動しました。あの出来事は忘れられません。」

最近では自らプレーする機会は減ったものの、ボールに触るだけでも楽しい。

「蹴ったりリフティングしたり：テイングしたり：とにかくボールに触っていると楽しいんです。まさに『ボールは友達』(キャプテン翼の名言)ですね。」

また、最近はお子さんがサッカーを始めたそうで、相手をするのも楽しいし、自らの夢をも託しているそうだ。

青年会員との交流の輪にも期待する。

「サッカー談議もたくさんしたいですね。僕はサッカーのみならず、スポーツ全般が好きなので、そこから会員の皆さんとの交流の輪も広げていきたいです。」

そしていつか会員同士でもサッカーをし

《取材 後藤 正幸》

新年正式参拝 新年研修会・互礼会



【報告者】

石鎚神社

権瀬宜

高岡

健

去る一月二十九日、松山市の国際ホテル松山に於きまして新年研修会並びに新年互礼会が開催されました。

先ず、ルビーの間で行われました新年研修会では、元陸上自衛隊所属で、松山市役所総合政策危機管理担当部長付きの上野恵先生に依ります御講話を賜りました。



「大規模災害に備える」と題され、近年の大災害でありました東日本大震災、また、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件等、過去の大災害の実態と被災者の救援活動を

講師の上野恵先生



災害対策は神青でも大きな課題。出席者は熱心に聞き入っていた



通して、平素からの備えや災害時の対応の確立、訓練の大切さをお教えいただきました。

自分自身も、以前は災害自体の認識も薄く、津波に於いても日本以外の国ではテレビに映る大津波を見た事はありませんが、日本ではそれも無く、安易に過ごしておりましたが、平成二十三年の東日本大震災で意識が大きく変わりました。

後日ですが、昔、東北地方で大きな地震があり、海岸近くの境界線から海側へ家を建ててはいけないという教訓があったにもかかわらず、家を建てて流されてしまったというお話や五十センチの津波が来ると足を取られて動けなくなるというお話も聞きました。

近年は、地震や津波だけでなく大雨による土砂災害や大雪による災害もよく目にするようになりました。技術や情報も発達し、何不自由なく暮らしている私達ですが、自然の偉大さ、強大さをよく知り、過去に生じた事例を生かし、地域一丸となって行動し、自然とも上手に付き合っていかなければならないと思いました。

研修会の後は、同ホテル伊豫の間に於きまして新年互礼会が開催され、愛媛県神社庁長、十亀興美様を始め、十二名のご来賓の皆様が集われる中、和やかに親睦を深めました。

納めになりましたが、今回御講義賜りました上野先生、ご多忙の中、お越しいただきました御来賓の先生方に深く感謝申し上げます。御報告とさせていただきます。



十亀庁長様始め多くの先輩方に御臨席賜り、和やかな雰囲気



十亀新会長以下新役員が意気込みを語った

災害対策も神青の重要な課題の一つ。皆で学びいざという時に備えよう！

平成二十六年度 神道青年全国協議会 中央研修会(和歌山)



【報告者】
天満神社
宮司 薬師神 敬篤

平成二十七年三月十七日～十八日の二日間、神道青年全国協議会中央研修会が、和歌山県神道青年会担当のもと、ホテルグランヴィア和歌山に於いて開催されました。全国から会員約三六〇名、当会からは十一名が参加しました。

今回は主題を『和』の誇り～世界へと誇れ日本の精神と伝統文化』と題して三名の先生にご講義いただき、二日間にわたり研修しました。



講師の先生に質問する柳原副会長

第一講では、映像ジャーナリストで和歌山大学特任助教でもあるサイモン・ワーン先生に「古式伝統捕鯨から見る和の文化と精神」と題してご講義いただきました。サイモン先生は、日本の調査



サイモン・ワーン先生

捕鯨船を妨害するシー・シェパードを五週間取材。しかし放送された映像は都合良く編集されたものであったそうです。先生は、日本の捕鯨は素晴らしく昔より乱獲はせず、肉骨まで捨てることなく利用しており、自然や動物の恩恵を受け生活をしている日本の捕鯨業は産業遺産であると述べられました。続けて日本人は、もともと自分たちの文化・歴史を知り、自信を持って世界へ発信しなければいけないと指摘されました。



田中章二先生

第二講では、和歌山県立和歌山北高校教諭・体操部監督の田中章二先生に『和の教育論』三人の子供を育てて～夢をあきらめない』と題してご講義いただきました。ロンドン五輪に世界体操界で初めて三人の子供を出場させた父親である田中先生は、子供の事は「勉強・遊び・社会性を学ぶ」の三つであると述べられ、中でも社会性を学ばせるには、親の子に対する接し方が非常に大切で、親は子に対し近からず遠からず距離感を保ち、時に子供を叱りしつけることが大切であると述べられました。



福本出先生

第三講では、元海将・元海上自衛隊幹部学校長の福本出先生に「海を越えた握手」国家間の友情（エルトゥール号遭難事件に見る和の精神」と題してご講義いただきました。エルトゥール号が台風で遭難をした時、串本大島の住民が危険をも省みず遭難者の救護に努め、無事生還しました。それから約百年後、イラン・イラク戦争開始まで後数時間という時にイランに取り残された日本人を自国の便に乗せ救出、トルコの人々は百年前の恩を忘れていなかったと述べられました。又、日本は古来より和の精神が受け継がれており、串本大島の住民の行動、そして東日本大震災の時の行動に表れていると述べられました。

今回の研修会を通じ、日本人の根幹ともいふべき「和」の民族精神と神話の時代から連綿と続くむつび和らぎの文化、神職としてこれからの教化活動へと繋げていきたいよう努めたいと強く思いました。



中央研修会に参加した会員

他県での研修会も会員なら誰でも参加できます！お近くの役員にお問い合わせを！

第十七回 慰問神楽 ～今治市 志々満保育園～



【報告者】

愛媛県神道青年会 理事
高忍日賣神社

欄 宜 後藤 正幸

去る三月二十五日、今治市桜井鎮座、網敷天満神社の境内にある志々満保育園にて、第十七回慰問神楽を開催させていただきました。

当日は年長さんが綱敷天満神社にて卒園奉告祭に参列し、その後卒園記念として二歳児以上の園児を交え、またお世話になった地域の方々も招待しての慰問神楽となりました。

園長先生と清家会長の挨拶に続き、まず



石鎚神社巫女による「悠久の舞」

石鎚神社巫女による「悠久の舞」を披露し、華麗な舞に子どもたちも入っていました。次は「越殿楽」を演奏。思ったよりも大きな音に少しびっくりした子どもいましたが、雅楽



楽器紹介

の音色を初めて聞く子が多かったようで、興味津々のようでした。

楽器紹介に続き、「ひなまつり」を演奏し、園児はじめ会場の皆様にも歌ってもらい、雅楽で身近な曲にも触れてもらえたと思います。

最後のトリは、伊豫神楽の「大蛇の舞」です。鬼が出現し子どもたちに近づくと、「怖いよー」と泣き叫ぶ子が続出。鬼は威勢良く子どもたちに近づきますが、子どもたちは逃げ惑います。しかし、そこに立ち向かう子どもが現れます。すると、次第に立ち向かう子どもが増え、たちまち鬼が負かされることに。子どもたちが力を合わせて「鬼退治」となりました。

会場内が大変盛り上がりだったところで、今回の慰問神楽を執り納めました。最後に子どもたちから「アンコール」の声もあり、大変嬉しく



鬼が近づくと逃げ回る子どもたち。しかし、このあと異変が...

思った次第です。

最後になりましたが、今回の慰問神楽開催に当たり大変ご協力を賜りました、志々満保育園菅千代美理事長先生はじめ各先生方、ご多忙のところ遠方よりご奉仕戴きました伊豫神楽の皆様には厚く御礼を申し上げます。

志々満保育園児より

絵のプレゼント

慰問神楽の後日、志々満保育園様より慰問神楽の様子を、園児達の感想と共に絵にしたための作品をいただきました。

悠久の舞や雅楽演奏の様子と共に、「大蛇の舞」の鬼が大きく中心に描かれていて、子どもたちにとって強烈な印象であつたことがうかがえる作品です。



園児の皆様、素敵な作品をお贈りいただき、ありがとうございました！

高知県神道青年会 設立四十周年記念式典



【報告者】
石鎚神社
権禰宜

高岡 健

去る三月二十六日、高知県に於きまして、高知県神道青年会設立四十周年記念式典が開催されました。

先ず高知市消防局警防課、防災担当係長の和田清秀先生により「地域のために」災害時における神社の役割と対応」と題しての記念講演があり、将来、起こるであろう南海トラフ巨大地震を踏まえて、過去に起こった南海地震や阪神淡路大震災、東日本大震災等を通して、自らの経験も取り入れられながら、災害に対しての知識や対処の方法等、お教え戴きました。

大きな災害が起こった時には、テレビ等でも数多く取り上げられますが、一時経てば目にする機会も少なくなり、記憶も薄くなりがちになります。その中で、事前に自分が出てくる事が何か、しっかりと把握し、状況に応じて動く事、また、災害に対して最善を尽くす為にも日頃からの訓練や意識付けが肝要であると教わりました。諦めずに取り組む心が大切なのだとして学びました。



祝賀会の鏡開き。尾崎高知県知事始め多数御来賓の御臨席のもと、盛大に開催された

式典後の祝賀会に於きましても、高知県尾崎正直知事を始め、多くの御来賓の皆様が出席され、一同に喜びを共にしておられました。納めに、今回御講師でありました和田先生他、お世話をして下さりました高知県神道青年会設立四十周年記念事業実行委員会、また御関係の皆様、当日、共に過ごした皆様方に感謝申し上げます。御報告と致します。

続いて行われた記念式典では、物故会員に対しての黙祷を捧げた後、高知県神道青年会吉野慶会長の式辞、周年記念事業報告、高知県神道青年会の功労者として、歴代会長長の表彰があり、高知県神社庁川村公彦庁長、神道青年全国協議会南坊城光興会長よりお祝いの言葉が述べられ、高知県内は元より、県外からも多数の参加者が集い、盛大に式典が催されました。



式辞を述べる吉野会長

神道青年全国協議会 第六十七回定例総会



【報告者】
愛媛県神道青年会
副会長・事務局長
吹揚神社
欄 宜

田窪 大朗

去る四月二十三日、神社本庁にて神道青年全国協議会第六十七回定例総会が開催されました。なんと、総会議長を愛媛県から出したいと神青協の長友会長から打診があり、十亀会長が選出されました。そして私(田窪)も柳原副会長の代理として出席しました。



神青協総会で議長を務める当会十亀会長

平成二十六年度の収支決算や会計監査報告、平成二十七年度の活動方針や予算案、次世代委員会設置の件などが滞りなく進められました。

今期の新役員も紹介をされ、愛媛県だけでなく神青協も役員改選で心機一転でした。

皇居勤労奉仕に参加して



愛媛県神道青年会 監事
八幡神社
欄 宜 清家 貞文

去る二月二十三日から二十七日まで神道政治連盟(以下神政連)主催の皇居勤労奉仕に参加させて頂きました。これは神政連が、毎年、時局対策連絡会議を開催する時期を同じくして、神政連の五周年毎に皇居勤労奉仕と併せて開催しており、全国各県一名ずつ、総勢三十八名が東京に集まり、日中は皇居内の勤労奉仕、夜は時局対策研修会と日夜励みました。

皇居勤労奉仕のはじまりは終戦直後の昭和二十年十一月まで遡ります。皇居坂下門に二名の青年が突如現れます。宮城県栗野郡の青年団のメンバー二名が戦火で荒れてしまった皇居外苑の草むしりをしたい、との申し出がありました。宮内省の許可を得て十二月八日、六十余名の奉仕隊が宮城県から皇居に集まりました。

とはいえ当時はGHQの占領政策下、皇室のために奉仕をするとなると、もしかしたらGHQに捕われるかもしれない、といった心配もあり、ふるさとを出発する時に別れの水盃を親族と交わした者までいたそうです。また一度に全員逮捕されるよりは、

と奉仕隊を二隊に分けて、先ずは先発隊を派遣する、という念の入れようでした。

奉仕隊の青年たちにとっては決死の覚悟だったことでしょう。話を聞いた昭和の陛下は、ひとこと話をしたいと、作業している奉仕隊のもとへ向かわれました。

まさか陛下にお目通りできるとはつゆにも思っていなかった一同。陛下は彼らに宮城の状況や列車の混雑の様子、米作の作柄などをお尋ねになられ、御会釈は半時間ほど続いたそうです。

御会釈が終わり、陛下をお見送りする一同でしたが、誰からともなく「君が代」を唄いはじめ、大合唱となりました。

陛下は思わず歩みを止めて立ち止まり、その歌声をじっと聞かれておられました。その歌声は涙声となり、最後まで唄いあげたそうです。これまで天皇陛下が国民と触れ合うなどということは、まずありませんでした。この奉仕隊との交歓こそが今現在も続く御皇室と国民の間のふれあいの最初でありました。

その翌年からスタートした歴史に名高い陛下の地方御巡幸でも、このようなふれあいが全国各地で行われていくことになったそうです。

皇居勤労奉仕では、この「御会釈」の機会に恵まれるかもしれない、と参加前の噂で聞いていましたが、今回は皇居で天皇・皇后両陛下、そして赤坂御用地で皇太子殿下からの「御会釈」の機会を賜りました。皇居内の決められた部屋で各団体整列し

て特別な空気の中でお待ち致しております。そして定刻。寸分のズレもなく両陛下が御到着され、一団体ずつ「御会釈」を賜りました。どの団体にも思っていたよりも長く御会釈されるにつけ、奉仕隊への御心遣いを感じました。結びに万歳三唱を全員で奉唱して終了、雨が降っていたにもかかわらず皇后陛下はわざわざ窓をお開けになり、姿が見えなくなるまで御手を振られておられました。

テレビで御声は拝聴しておりますが、直接ともなると、それはまた格別な思いを致しました。涙が自然と流れた人も少なくなかったと記憶しています。日本人で良かった、と心の底から感じた瞬間でした。

次の神政連主催の皇居勤労奉仕は五年後です。是非参加出来る機会に恵まれますよう、願っております。



皇居勤労奉仕団 皇居伏見櫓にて、最前列左から五人目が清家監事

人

(清家会長以下九名出席)

会員各位には昨年度も各事業に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

十七日	日本会議愛媛県本部・建国記念の日奉祝愛媛県実行委員会 合同運営委員会 【みゆき会館】
十月 二十日	(清家会長出席) 第二十回全園戦歿学徒追悼祭 【若人の広場】
二十四日	(清家会長参列) 第六回 役員会 【伊豫豆比古命神社】
二十九日	(清家会長以下十名出席) 臨時総会 【全】
二十九日	(清家会長以下二十四名出席) 神道青年全国協議会創立六十五周年事業 【全】
三十日	日本海平安慰霊祭並びに殉職者慰霊祭 竹島之碑竣工 【鳥根県】
三十一日	(清家会長参列) 愛媛県神社庁 第二回 定例協議員会 【神社庁】
十一月二十五日	(清家会長出席) 第七回 役員会 【愛媛縣護國神社】
十二月 二日	(清家会長以下九名出席) 三島森田両烈士追悼四十四周年慰霊祭 【全】
二日	(後藤副会長以下九名奉仕 清家会長以下十八名参列) 神道青年全国協議会 臨時総会 【神社本庁】
二日	(清家会長以下二名出席) 第二回中国五県青年神職協議会・神道青年四国地区協議会 【国際ホテル松山】
三日	(清家会長以下二十三名出席) 神道青年四国地区協議会 第三回 役員会 【国際ホテル松山】
四日	地区協設立二十周年記念大会実行委員会 【伊豫豆比古命神社】
十六日	(清家会長以下五名出席) 建国記念の日奉祝愛媛県実行委員会総会 【みゆき会館】
二十三日	(清家会長出席) 拉致問題を考える研修会 【県庁】
二十三日	(十亀副会長代理出席) 天皇陛下のお誕生日をお祝いする集い 【松山市総合コミュニティセンター】
二十三日	(善家理事代理出席)
平成二十七年 一月 一日	会報「若竹・第六十三号」発行 【愛媛縣護國神社】
二十九日	年頭正式参拝 【愛媛縣護國神社】
全	(清家会長以下八名参拝) 第八回 役員会 【国際ホテル松山】
全	(清家会長以下九名出席) 新年研修会 【パールの間】
全	演題「防災対策研修」 【全 ルビーの間】
全	講師 松山市役所総合政策部危機管理担当部長付 上野 恵先生 【全 ルビーの間】
全	《清家神社庁理事以下御来賓四名御出席》 (清家会長以下二十二名出席)

全	新年互礼会 【全 伊豫の間】
三十一日	《十亀庁長以下御来賓十二名御出席》 (清家会長以下二十七名出席) 北朝鮮拉致問題啓発パレード 【坊ちゃん広場・大街道】
二月 九日	(善家理事出席) 第九回 役員会 【神社庁】
十三日	(清家会長以下九名出席) 地区協設立二十周年記念大会実行委員会 【石鎚神社】
三月 三日	(清家会長以下四名出席) 日本会議愛媛県本部 運営委員会 【みゆき会館】
十二日	(清家会長出席) 第十回 役員会 【伊豫豆比古命神社】
十六日	(清家会長以下十四名出席) 愛媛縣護國神社額田照彦宮司就任祝賀会 【全日空ホテル】
十七日	(十亀副会長代理出席) 神道青年四国地区協議会 臨時役員会 【ホテルグランヴィア和歌山】
十八日	(清家会長以下五名出席) 神道青年全国協議会 中央研修会 【全】
十八日	『和』の誇り 『世界へと誇れ日本の精神と伝統文化』 第一講「古式伝統捕鯨から見る和の文化と精神」 第二講「和の教育論」三人の子供を育てて夢をあきらめない 第三講「海を越えた握手」国家間の友情 【全】
二十五日	講師 映像ジャーナリスト・和歌山大学特任教授 サイモン・ワーン 先生 【全】
二十六日	講師 和歌山県立和歌山北高校教諭・体操部監督 田中 章二 先生 【全】
二十五日	第三講「海を越えた握手」国家間の友情 【全】
二十五日	講師 エルトウール号遭難事件に見る和の精神 福本 出 先生 【全】
二十六日	講師 元海将・元海上自衛隊幹部学校長 【全】
二十六日	(清家会長以下十一名出席) 慰問神楽 【今治市 志々満保育園】
二十六日	(清家会長以下十名参加) 高知県神道青年会設立四十周年記念式典 記念式典 【サ クラウンパレス新阪急高知】
四月 三日	記念講演「地域の為に」 講師 高知市消防局警防課 防災担当係長 和田 清秀 先生 【伊豫豆比古命神社】
四月 三日	(清家会長以下八名出席) 会計監査会 【伊豫豆比古命神社】
四月 三日	(清家会長以下六名出席)

皆様に御協力を賜り会務が遂行出来ました事に深謝致します
会長 清家 貞文

今年度も親睦、研修会等の事業を計画！皆様のご参加お待ちしております！

愛媛県神道青年会 平成26年度一般会計歳入歳出決算書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

歳入の部

単位：円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	700,000	846,000	146,000	年会費・定時総会々費・会員研修会々費・新年互礼会々費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,431,000	1,871,000	440,000	県内神職寄付金・諸事業援助金
4 雑 収 入	329	5,000	4,671	盛塩器代
5 繰 越 金	568,671	568,671	0	平成25年度より
歳入合計	2,900,000	3,490,671	590,671	

歳出の部

単位：円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	610,000	553,520	△ 56,480	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研 修 教 化	700,000	630,384	△ 69,616	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他
3 事 業 費	200,000	168,480	△ 31,520	参拝啓発ポスター
4 広 報 費	550,000	613,693	63,693	若竹62号/63号作製費及び発送費・HPリニューアル費
5 事 務 費	120,000	86,745	△ 33,255	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	0	△ 10,000	
7 旅 費	310,000	310,000	0	神青協総会・神青協役員旅費補助
8 慶 弔 費	50,000	76,328	26,328	慶弔金・電報代
9 分 担 費	280,000	268,000	△ 12,000	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	10,000	0	△ 10,000	
12 予 備 費	10,000	0	△ 10,000	
歳出合計	2,900,000	2,757,150	△ 142,850	

歳入合計 ￥3,490,671 歳出合計 ￥2,757,150 差引残高 ￥733,521

愛媛県神道青年会 会長 清家 貞文 提出

上記の通り相違ない事を認めます。

平成27年4月3日

監事 三 輪 田 尋道

監事 長曾我部 信弘

愛媛県神道青年会 平成27年度一般会計歳入歳出予算書

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

歳入の部

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	700,000	700,000	0	年会費・定時総会々費・新年互礼会々費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,431,000	1,300,000	△ 131,000	県内神職寄付金
4 雑 収 入	329	6,479	6,150	預金利子他
5 繰 越 金	568,671	733,521	164,850	平成26年度より
歳入合計	2,900,000	2,940,000	40,000	

歳出の部

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	610,000	650,000	40,000	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研 修 教 化	700,000	950,000	250,000	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他(福島含む)
3 事 業 費	200,000	200,000	0	参拝啓発ポスター頒布事業
4 広 報 費	550,000	350,000	△ 200,000	若竹64号/65号作製費及び発送費・ホームページ更新費
5 事 務 費	120,000	120,000	0	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	10,000	0	
7 旅 費	310,000	210,000	△ 100,000	神青協定時総会・神青協出向役員旅費補助
8 慶 弔 費	50,000	80,000	30,000	慶弔金・電報代
9 分 担 費	280,000	280,000	0	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	10,000	10,000	0	
12 予 備 費	10,000	30,000	20,000	
歳出合計	2,900,000	2,940,000	40,000	

歳入合計 ￥2,940,000 歳出合計 ￥2,940,000 差引残高 ￥0

愛媛県神道青年会役員会 提出

平成27年4月14日

年会費 納めて固まる 礎に 青年会の 明日が拓ける

平成二十七年 活動計画

四月 三日	平成二十六年度会計監査会	【伊豫豆比古命神社】
十四日	第一回 役員会	【吹揚神社】
二十三日	神道青年全国協議会 第六十七回定例総会	【神社本庁】
五月二十九日	第二回 役員会	
六月 一日	第四十四回 定時総会 会報「若竹」第六十四号「発刊	【国際ホテル松山】
九日	神道青年四国地区協議会 設立二十周年奉告祭	【香川県神社庁】
六月 十日	第一回 役員会	【香川県】
六月 十日	第三回 役員会	
七月 十一日	第四回 役員会	
八月 十一日	神道青年四国地区協議会 設立二十周年記念式典	【松山全日空ホテル】
二十六日	神道青年全国協議会	【神社本庁】
二十七日	平成二十七年 夏期セミナー	
九月 二日	神道青年四国地区協議会 設立二十周年神道行法錬成会	【高知県】
三日	神道青年四国地区協議会	
八日	第二回 役員会	【高知県】
十日	神道青年四国地区協議会 設立二十周年記念事業 東日本大震災復興支援活動並びに被災地視察旅行	【福島県】

九月下旬	参拝啓発ポスター送作業	【愛媛県神社庁】
九月下旬	第五回 役員会	【愛媛県神社庁】
九月	第三十三回 観月神楽の夕へ	
十月	第六回 役員会	
十一月二十五日	第七回 役員会	
全	三島森田両烈士追悼四十五周年慰霊祭	【愛媛縣護國神社】
十二月	神道青年四国地区協議会 設立二十周年親睦ボウリング大会	【徳島県】
一月 一日	第三回 役員会	【徳島県】
一月 一日	会報「若竹」第六十五号「発刊	【国際ホテル松山】
一月	第八回 役員会	【全】
二月	新年研修会・新年互礼会	
二月 十六日	第九回 役員会	
三月 十六日	神道青年全国協議会	
三月 十七日	平成二十七年 神宮研修会	【神宮】
三月 十日	第十回 役員会	

※(日時未定)慰問神楽
※時局問題への即応
●その他、役員会にて議案審議

平成二十六年度 助成寄付御芳名

※順不同にて掲載させて頂いております

御助成

金 貳拾萬圓也

愛媛県神社庁 殿

御寄付

【東予】

金 壹拾萬圓也

石鎚神社

十亀 興美 殿

金 伍萬圓也

大山祇神社

三島 喜徳 殿

金 參萬圓也

神社庁

新居 支部 殿

一宮神社

矢野 哲夫 殿

金 貳萬圓也

吹揚神社

田窪 久 殿

金 壹萬伍仟圓也

今宮神社

佐藤 伊都男 殿

金 壹萬圓也

潮早神社

浅海 宜英 殿

三島神社

大西 元宣 殿

村山神社

柿田 嘉津雄 殿

玉生八幡神社

平田 彰 殿

伊曾乃神社

井上千賀司 殿

嘉母神社

石川 雅司郎 殿

周敷神社

井上 初美 殿

熊野神社

田邊 捷 殿

荒木八幡大神

松本 恒夫 殿

高尾神社

玉井 忠素 殿

大井八幡大神社

榑部 浄文 殿

綾延神社

森 正康 殿

白山神社

大岡 忠臣 殿

萩岡神社

大岡 忠臣 殿

三嶋神社

越智 静治 殿

高浜八幡神社

龜山 和磨 殿

大島八幡神社

矢野 秀綱 殿

大浜八幡大神社

松垣 壮次 殿

姫坂神社

沼崎 守文 殿

多伎神社

沼崎 守文 殿

生名八幡神社

西村 純子 殿

別宮大山祇神社

高田 康成 殿

堀江神社

合田 千里 殿

原八幡大神社

矢野 敬陽 殿

大西神社

及川 徹也 殿

宇佐八幡神社

松木 正述 殿

三嶋神社

堀川 泰規 殿

金 伍仟圓也

喜多浦八幡大神神社

馬越 祥穂 殿

八幡大神社

安藤 潔 殿

奈良原神社

竹之内 紀久江 殿

八幡宮

合田 正士 殿

濱上神社

宮本 基 殿

橘八幡大神社

馬越 將文 殿

保内八幡神社

中島 佳代子 殿

碓掛天満宮

小池 清史 殿

土居神社

矢野 耕一郎 殿

盛八幡大神社

高橋 幸意 殿

飯積神社

葛城 光彦 殿

金 壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

長曾我部延昭 殿

金 伍萬圓也

愛媛縣護國神社

額田 照彦 殿

金 參萬圓也

神社庁

松山 支部 殿

金 貳萬九仟圓也

神社庁

伊予 支部 殿

金 貳萬六仟圓也

早虎神社

立野 好仁 殿

金 貳萬圓也

嚴島神社

柳原 宰 殿

金 壹萬圓也

神社庁

久万 支部 殿

湊三嶋大明神社

渡部 定詔 殿

桑原八幡神社

石丸 剛司 殿

還熊八幡神社

玉井 次明 殿

雄郡神社

高市 誠司 殿

正八幡神社

重松 讓 殿

忽那島八幡宮

大宮 信篤 殿

勝岡八幡神社

武智 輝子 殿

高縄神社

正岡 重岩 殿

波賀部神社

武智 彰宏 殿

井手神社

横田 貞子 殿

日尾八幡神社

三輪 純 殿

八幡神社

小野 哲也 殿

伊豫稻荷神社

星野 暢廣 殿

日吉神社

都子野 清彦 殿

三嶋大明神社

大内 正人 殿

金刀比羅神社

大谷 伸二 殿

客王神社

二神 良昌 殿

三島神社

高市 忠誠 殿

國津比古命神社

井上 忠史 殿

高忍日賣神社

後藤 正宜 殿

金 伍仟圓也

神社庁

松山支部 殿

若宮八幡神社

三好捷三 殿

青年会活動に御理解戴き、過分なる御厚意を頂戴致しましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。役員・会員一同

金刀比羅神社 三島神社 徳威三嶋宮 阿沼美神社 伊曾能神社 三島神社 八坂神社 新田神社 立石神社 新田八幡神社 三島神社 天満神社 氏之宮三嶋神社 天一稻荷神社 當田八幡神社 八幡神社 高家八幡神社 築島神社 金、參阡圓也 天満神社 素鷲神社	山下幸志 高市俊次 別府頼房 大内將通 武市盛幸 玉井貞臣 都築芳憲 都築芳憲 都築芳憲 都築芳憲 武智仁志 武智成保 綿崎祥子 武智純二 額田照彦 桑原浅雄 都子野清明 渡部正巳 新藤昭重 水地明彦	山幸志 高市俊次 別府頼房 大内將通 武市盛幸 玉井貞臣 都築芳憲 都築芳憲 都築芳憲 都築芳憲 武智仁志 武智成保 綿崎祥子 武智純二 額田照彦 桑原浅雄 都子野清明 渡部正巳 新藤昭重 水地明彦	殿 殿
--	---	--	---

金、貳萬圓也 川上神社 金、壹萬圓也	野口泰治 愛媛県神社庁	殿 殿
--------------------------	----------------	--------

三島森田両烈士追悼四十四周年慰霊祭玉串料 金、壹萬圓也 愛媛祖國と青年の会 金、參阡圓也	越智敏雄 三宅浩正 御稿こずえ	殿 殿 殿
---	-----------------------	-------------

それ行け！二足のわらじ

兼職会員インタビュー



File.04

日招八幡大神社(松山市)
 職種 欄宣 玉井 正祥さん
 ケーブルテレビ
 事務・顧客応対

「本日は愛媛CATV本社に來させていただきましたが、玉井さんはこちらでどのような業務をされているのですか？」

玉井 手続きやの料金の請求といった事務をはじめ、問い合わせやクレームなどの応対もしています。また、最近は「ケーブルモバイル」という格安スマホサービスを開始しており、そこらにも携わっています。

「スマホも取り扱っているんですね！ところで、こちらに就職した理由は何ですか？」
 玉井 國學院大學卒業後は実家の神社と兼職できるようにしたかったので、松山で就職したいと思っていました。また、放送・制作に興味があったことから、本社が松山にある当社の入社試験を受けて、入社しました。

「そつだったのですね。普段の勤務日や時間はどうでしょうか？また、神職との時間のやりくりはどのようにしていますか？」
 玉井 以前は基本的に平日と隔週土曜勤務でしたが、最近は出勤日や時間が一定ではあ

りません。神職としての奉仕は、以前は神社の大祭等の時くらいでしたが、近年は有給休暇をとったり、会社も休暇の融通をきかせたりしてくれまので、ご祈祷や出張祭等も徐々にですが奉仕できるようになりました。

「職場の方から神職として聞かれることもありますか？」

玉井 はい、安産や厄除けのお祓いや古神札の納め方等、様々な質問を受けます。それで神社に足を運んでくれた人もいます。取引先の方とも「神主さんですかー」というところから話が弾むこともあります。また、社内に神棚を祀る際も相談を受け、その後神棚が奉斎されました。様々な質問を受けるのですが、それだけ神道や神社のことを知らない方も多いように思います。

「立派な教化活動にもつながっていますね。神職の立場から見ても、この仕事に就いて良かった点は何か？」

玉井 まず、職場が奉務神社のある地元ですので、安心します。地方での就職が難しい中、働かせていただいていることに感謝しています。



愛媛CATVオープンスタジオの
103インチモニター前にて

また、様々な方に応対をしますの
で、相手の方との
接し方を学ぶこと
ができ、相手への
伝え方を考えられ
るようになりまし
た。神職としても
氏子さんや参拝者
の方と接する機会
が多いので、大変
参考になっていま
す。

「なるほど、御社頭でも役立っているのですね。」

玉井 はい、ちょうど当神社では、五月九日の竣工祭を以て社殿再建事業が一段落します。氏子さんも大変盛り上がりつついて、当神社で伝わる日招太鼓、獅子舞の会もできました。今後は神社を通してコミュニティを広げ、お世話いただく皆様の世代も幅広くなるようにしていきたいと思っています。会員の皆様も、お近くにいられた際には当神社にどうぞお立ち寄りください。

「御社殿の竣工、おめでとうございませう。これから益々社務にも力が入りますね。御社頭の益々の御隆昌をお祈り申し上げます。ありがとうございます。」

《取材 後藤 正幸》



竣工したばかりの御社殿で奉務に励む

「二足のわらじ」に取り上げて欲しい兼職の会員の方、只今募集中です。
 男女不問、自薦・他薦問いません！情報をお寄せください。

神道青年四国地区協議会 行事案内

今年度は設立二十周年各記念行事が開催されます

記念式典は八月十一日

愛媛県にて開催

会員皆様のご参加を!

神道青年四国地区協議会は、設立以来二十周年の佳節を迎え、今年度は下記の通り各記念事業が開催されることとなっております。

八月十一日(火)には第二十一回定例総会と共に、設立二十周年記念式典が愛媛県担当にて開催されます。

正式参拝、総会、記念式典の他、愛媛大学法文学部総合政策学科・米田誠司先生による記念講演等も予定されています。

全国からの御来賓の方を始め、四国内の同志の皆様をお迎えし、懇親を深められる絶好の機会です。

詳細につきましては、会員の皆様にはあらためてご案内致します。

八月十一日(火)は万障お繰り合わせの上ご参加いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

この他、周年の各事業が下記の通り行われますので、ご参照の上奮ってご参加ください。なお、詳細等はHP等においてもお知らせしております。

神道青年四国地区協議会

設立二十周年記念事業案内

○設立二十周年奉告祭

平成二十七年六月九日(火・友引)
於 香川県神社庁 神殿

○第二十一回定例総会並びに 設立二十周年記念式典

平成二十七年八月十一日(火・友引)

【正式参拝】 於 愛媛県護国神社
【総 会】 於 みゆき会館 (予定)
【記念式典】 於 松山全日空ホテル(予定)

○設立二十周年記念事業

第十八回神道行法錬成会及び懇親会
平成二十七年九月二日(水・友引)
於 八幡宮(高知県香南市)

○設立二十周年記念事業

東日本震災復興支援活動
並びに被災地視察旅行
平成二十七年九月八日(火)～十日(木)
於 福島県内被災神社
目的 境内整備・清掃作業等

会員の皆様への

連絡・御案内について

一昨年度より、会員の皆様には連絡担当役員を設置し、各事業をよりご理解いただく為にも、電話等において各種行事案内や出欠確認等をさせていただいているところでございます。

前期においては、会員各位のご協力を賜り、各事業へご出席いただける方も増加することができ、役員一同心より厚く御礼申し上げます。

今年度も引き続き御案内等をさせていただきますが、この度役員改選に伴い、四月より皆様の連絡担当役員を変更させていただきます。何卒ご理解・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

なお、メールで行事の詳細な案内をお送りする場合がありますので、メールアドレスをお知らせいただいていない方は、担当役員までお知らせください。

定時総会、臨時総会、新年互礼会等、以前より郵送にて御案内しているものにつきましては、今後とも同様に御案内致しますので、宜しくお願い申し上げます。

会員皆様のご奮ってのご参加、お待ちしております！
役員一同

神道青年四国地区協議会設立20周年記念式典は愛媛開催。
「おもてなし」の心を大切に、県外からの皆様をお迎えしましょう。

青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会の年を迎えられました先輩方をご紹介します。

和霊神社 権禰宜(元 副会長)

三輪田 尋道様
伊豫豆比古命神社 権禰宜(元 副会長)

後藤 雅彦様
八幡神社 権禰宜(元 理事)

常磐井 守道様
大亀八幡大神社 宮司(元 理事)

矢野 泰三様
熊野神社 権禰宜

田邊 宗興様
日尾八幡神社 宮司

三輪田 純様
諸山積神社 宮司

武智 佳子様
賀茂神社 権禰宜

三好 真穂様

永年に亘り当会の活動にご尽力賜りまして誠に有り難う御座いました。会員一同感謝申し上げます。

今後尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に益々のご活躍をご祈念申し上げます。

神道青年全国協議会 研修会の御案内

夏期セミナー御案内

平成二十七年(2015年)度神道青年全国協議会夏期セミナーが左記の日時に執り行われます。

【日時】

平成二十七年八月二十六日(水・先勝)
八月二十七日(木・友引)

【会場】

神社本庁

神宮研修会御案内

【日時】

平成二十八年三月十六日(水・先負)

三月十七日(木・仏滅)

【会場】

神宮

例年「中央研修会」で行われている研修会ですが、平成二十七年(2015年)度は会場が神宮となるため、「神宮研修会」として開催されます。

「夏期セミナー」「神宮研修会」共に、全国の同志と出合い、著名な先生方の貴重なお話が拝聴できるまたとない機会です。詳細は後日改めてHP等で御案内致します。ぜひご参加ください。

今号の思ひ出ショット!!

三月に開かれた和歌山での中央研修会に出席すべく、愛媛神青二行は前夜東予港からフェリーで大阪へ向け出発。しかし、大変な濃霧に見舞われ、船は途中で引き返す事に。翌朝四国に戻った二行は、急遽JR(何故かアンパンマン席)で和歌山へ向かうことに。ほんの少し遅れましたが、何とか無事到着。大変思い出深い旅路となりました(^^)



先輩方の益々の御活躍を心より御祈念申し上げます。



愛媛県神道青年会

—— 愛媛県神道青年会公式ホームページ ——

リニューアルオープン!!

愛媛県神道青年会公式ホームページがこのほどリニューアルオープン致しました!

新しいホームページでは、再発足から現在までの活動を幅広く網羅。会報「若竹」のバックナンバーも全て閲覧できるようになっています。

また、愛媛神青再発足四十周年記念冊子「愛媛の神々」で取り上げた、神社本庁と包括関係のない地域のお社を、市町ごとに検索できるようになっています。



リニューアルした愛媛神青HPのトップページ

「知っておきたい神道知識」のページ



さらに新HPの「目玉」として、「知っておきたい神道知識」のページをご紹介します。こちらでは、神道全般についての疑問にお答えするページとともに、「愛媛の伝統芸能」、「愛媛の神社豆知識」のページを用意し、県内の神社や伝統芸能をわかりやすく網羅しています。一般の方のみならず神職の方にもご活用いただける内容となっています。

活動のお知らせや報告ももちろん充実させており、トップページに「Google カレンダー」を配置し、カレンダー形式で神青の活動予定をチェックできます。活動報告も、ブログはトップページに配置して最新記事をチェックしやすくしています。

最新情報については、今回のリニューアルに合わせて、愛媛県神道青年会公式 Facebook も開設しています。HPのトップページからも閲覧でき、Facebook 利用者はもちろん、未登録の方も記事閲覧できます。Facebook ユーザーの方は、ページの「いいね!」を押すと最新記事を随時入手できますので、ぜひ「いいね!」ボタンを押してください。投稿は随時行っていますので、ぜひ Facebook もご覧ください!



愛媛神青公式フェイスブックページ

